

令和6年度

ほうなん子ども園  
自己評価表

学校法人 唯佛寺学園  
幼保連携型認定こども園  
ほうなん子ども園

【評価対象期間】

令和6年4月1日～令和6年9月30日

【評価責任者】

豊中市豊南町南5-4-7 ほうなん子ども園  
園長 田原 宏章

# 自己評価表

令和6年度 幼保連携型認定こども園 ほうなん子ども園自己評価表

A…達成できている状態  
 B…あと少しで達成・取り組みなど頑張っている状態  
 C…頑張って取り組まなければいけない状態  
 D…ほとんど達成できていない

評価項目		評価
運営管理	① 園の施設の目的・運営方針・保育目標の周知をしている。	A
	② 定期的な職員会議等を通して資質向上、業務効率化や改善に努めている。	A
	③ 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっている。	A
守秘義務	① 園児の個人記録は個人情報法に基づいて管理・保管している。	A
	② 園内で知りえた事柄について守秘義務を徹底している。	A
安全・ 危機管理	① 危機管理マニュアルの保管場所を周知している。	A
	② 外部からの侵入者に対し対応策がなされた訓練に参加している。	A
	③ 緊急時の為に医療機関等の連絡先等を周知している。	A
	④ 園内の施設設備・遊具等の安全点検は定期的実施している。	A
	⑤ 避難訓練・交通安全指導計画に基づいて適切に実施している。	A
教育・ 保育環境	① 教育・保育環境を常に清潔に保ち、心地よい環境で教育・保育ができるように努めている。	A
	② 室内の温度、湿度、換気、照度等は園児の活動に合わせて配慮している。	A
	③ 屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている。	A
健康管理 ・衛生	① 園児の健康診断は定期的実施され、その結果は職員や保護者に伝達され教育・保育に反映させている。	A
	② 日々の園児の健康状態を観察し、一人ひとりの体調に合わせてた教育・保育を心掛けている。	A

教育・ 保育内容	①	すべての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している。	A
	②	園児に分かりやすい温かな言葉づかいで穏やかにはなしをしている。	A
	③	基本的な生活習慣は、園児の発達を考慮し、家族と連携して状況に応じて対応している。	A
	④	園児の発達に応じた玩具や遊具を質・量ともに準備している。	A
	⑤	身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性をはぐくむ配慮をしている。	A
	⑥	園児同士のかかわりで、順番を守るなどの社会的ルールを身につける配慮をしている。	A
行事について	①	行事のねらいを計画的に実施出来ている。	A
	②	乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動が出来ている。	A
食育	①	旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている。	A
	②	園児の発達に応じ食事の介助を適切に行い、落ち着いた環境で和やかに楽しく食事ができる配慮をしている。	A
	③	毎月の献立及び、毎日の食事の状況を保護者に知らせている。	A
	④	食物アレルギーのある園児は管理栄養士、調理員、職員で密に連絡を取り合い、除去食等の把握をしている。	A
子育て支援・ 地域交流	①	園児の送迎時に、園児の様子を伝えている。	A
	②	虐待対応マニュアルに基づき、虐待の早期発見に努めている。	A
	③	保育参観時は、保護者に教育・保育の理解をしてもらう工夫をしている。	A
	④	地域交流・中学生の職場体験・実習生の受け入れ体制について、その意義や方針を理解している。	A

令和 6 年度

ほうなん子ども園の自己評価について

ほうなん子ども園

自己評価というのは、自己申告で行われるものです。

これによって「保育者全員が一定の水準で評価されている」ということを知ることができモチベーション向上につなげていきます。

園にとりましても、職員同志の信頼関係はとても重要であり、一人ひとりの成長は園の成長にもつながってまいります。

モチベーションを高く保つためにも、自己評価は大変意味のあるものだと思います。

よって、ほうなん子ども園では、自己評価の結果を下記の通り HP にて公表いたします。

★自己評価は年に 2 回行う（10 月・3 月）

★項目については、今後改善・追加等を行う

## 上半期自己評価について

新しい年がスタートし、各学年ともにクラス作りに試行錯誤しながら保育をすすめてまいりました。子ども達一人ひとりと向き合い、寄り添いながらクラスをまとめ、活動への意欲を高めるなど、全職員が保育教諭としての仕事に対する誇りをしっかりと持ち、真摯に日々の保育に取り組んでいる姿が見られます。

一人で思い悩むことなく、お互いを思いやり、相手の立場に立って考えられるような関係を築き、助け合うことができる中で自然とあふれる笑顔こそが心からの笑顔であり、子ども達の清らかな瞳にまっすぐに届いていくものだと感じます。

現状の職員体制は、決して潤沢とは申せませんが、日々の保育はもちろんのこと、行事においても、妥協することなく、子ども達の持つ無限の可能性をできる限り伸ばしていくことを共通の目標として、取り組んでまいりたいと思います。

今後も、自己評価表を一つのきっかけとして、よりよい保育環境・教育・保育を目指し全職員が共に歩んでほしいと念じております。

## 【評価基準について】

A … 90 % 以上 達成できている状態

B … 70 ~ 89 % あと少しで達成・取り組みなど頑張っている

C … 50 ~ 69 % 頑張って取り組まなければいけない状態

D … 49 % 以下 ほとんどできていない

## 令和6年度（上半期） 自己評価のまとめ

ほうなん子ども園

### 『園の目標』

- ・「自己評価表」に基づき、定期的に自分を見つめ直す。
- ・職員会議・学年会議・園内研修を開き、積極的に外部研修を受講するなどして保育の質の向上を図る。
- ・問題視すべき事案が発生した場合は、全職員で共有し解決していく。

### 『各自の反省点・目標・感想』

- ・行事の準備等、余裕をもって早めに取り組み、職員間で助け合い声を掛け合うことでスムーズに進めることが出来ていた。
- ・クラス子ども達一人ひとりと丁寧に関わることの難しさを感じる中、子ども気持ちに寄り添い、安心して園生活が送れるよう意識しながら取り組んでいる。職員で協力しながらいろいろなことに取り組み進めていけたらと思う。
- ・新年度になり、忙しい中でも全職員がしっかり協力できていたと思う。新たな試みをした夏祭りも色々な意見を出し合い楽しく行えた。公私ともに皆さんに支えられ感謝している。これからもよいところは残し、改善すべきところは園長先生を中心に皆で考えていければと思う。
- ・今年度はこれまでの経験を生かし、見通しを以って保育ができていると思う。更に、それぞれ子どもにあった関わり方・活動・遊びを工夫しながら楽しく成長を促せるようなクラス運営をしていきたい。また、行事等では全職員が意見を出し合い協力して取り組むことができていると感じる。
- ・園全体を見て臨機応変に動けるよう、広い視野を持つ。
- ・子ども達が安全に過ごせるよう、掃除や環境整備など自らが気づけるようにしていきたい。これからも今まで以上に子ども達としっかりコミュニケーションをとっていきたいと思う。
- ・主に環境整備を中心に、園庭周りや広場の雑草・小枝などを除去しつまずきなどを防止するなど安心して遊び、活動ができるような環境にしていきたいと心掛けている。これからは落ち葉が増えるので積極的に掃除して整備していこうと思う。
- ・様々な場面で全学年のカリキュラムや子どもの姿、課題等を把握しておくことが大切だと今年度改めて感じた。今後も職員間のコミュニケーションや連携を意識しながら、普段の何気ない会話の中での気付きや学びを保育に生かしていきたいと思う。
- ・新年度から半年が経ち、子どもたちの成長が著しく、落ち着いてきている。後半は運動会や作品展、生活発表会などの行事に楽しんで参加したり取り組めるよう、一人ひとりの子どもに合った対応をしていきたい。

- ・進級に伴い、子ども達一人ひとりの性格や興味のあることに応じて接することができるよう努めた。今後も子供たちの興味・関心に寄り添って保育をしていきたい。職員間でもクラスの現状や子どもの様子を日々伝え合い情報共有もできていたと思う。
- ・1学期は大きな行事として子ども夏祭りが実施された。今までに経験のない屋台の出店を計画したが、職員一人ひとりが意見を出し、相談し合い円滑な関係が保てたと感じる。全職員がそれぞれの場で活躍でき、園児や地域の親子にとっても楽しいひと時を過ごしていただけた。安心安全な環境の中で、だれもが楽しめる夏祭りにしようとした全職員の努力が、これからの日々の活動や、行事等につながると思う。今後も、全職員が気持ちよく働ける環境づくりを目指し、すべての職員のフォロー、サポートに努めていきたい。

### 『園の今後の課題』

- ・人材不足の現状に決して甘んずることなく、職場環境の改善や精神的なケアに目を向け「働きやすい職場作り」を目指す。
- ・社会の動向に遅れることなく、求人方法を工夫し、採用活動に取り組む。

以 上